

フランス文学を 次世代へいかに伝えるべきか

全国の大学における「仏文科」の廃止やフランス語学習者の減少の中、フランス文学の危機が叫ばれるようになって久しいが、果たして我々は本当にそのような「危機」の中にいるのだろうか？ メディアや社会そのものが刻一刻と変化していく中、懐古的にかつてのフランス文学の隆盛を惜しむことにもはや意味があるのだろうか？ むしろ「Eラーニング」や「グローバル」といった怪しげな横文字が教育の現場を席卷する今日において、フランス文学の魅力をさらに次の世代へと伝えていくためには、かつてとは異なる新たな道を模索し続けねばならないだろう。本シンポジウムは、フランス語教育にも従事する若手フランス文学研究者を中心とした、21世紀からの日本におけるフランス文学伝承のあり方を考えるための試みである。

日時：2016年 **12月28日**(水)
15:00 ~ 18:00

会場：神戸大学 梅田インテリジェントラボラトリ
(梅田ゲートタワー8F)

パネリスト

高橋 梓 (近畿大学・特任講師)

「現代の大学教育の課題とフランス文学教育の可能性ー基礎教育における実践例ー」

福田 裕大 (近畿大学・講師)

「メディア史的観点から実践するフランス文学の教養教育」

松浦 菜美子 (平安女学院大学ほか・非常勤講師)

「フランス詩の学習素材としての可能性ー学習webサイト「ぼえふら」を通してー」

コメンテーター

佐々木 稔 (愛知学院大学ほか・非常勤講師)

コーディネーター

廣田 大地 (神戸大学・准教授)

※本シンポジウムは、日本学術振興会科学研究「デジタル時代における次世代へのフランス文学とその研究の継承法について」(廣田大地、若手研究(B) 課題番号 26770119)の成果発表の一環として開催されます。

共催：ボードレール研究会

問い合わせ先：廣田大地 (神戸大学大学教育推進機構
国際コミュニケーションセンター)

Email: hirotadaichi@ruby.kobe-u.ac.jp

会場までのアクセス



阪急「梅田」駅

徒歩5分

JR「大阪」駅

徒歩7分

地下鉄御堂筋線「梅田」駅

徒歩6分

地下鉄谷町線「東梅田」駅

徒歩8分